

**#3:すべてを含む、無限に拡張するキリストは、すべての事において首位である** 感謝祭特別集会 2020/1/27-2/2

**Overview:** 全世界の情勢は天の神による天の支配の下にあり、神のエコノミーにおける神の意図と符合します。キリストはこのエコノミーの中心です。神の天的な支配の下で、神は環境を用いて、キリストを私たちの中心性(第一)と普遍性(すべて)としつつあります(I)。キリストが第一であることの意味は、彼がすべてであるということです。キリストは宇宙においても召会においても第一であるので、宇宙においても召会においてもすべてでなければなりません(II)。キリストは、a) 私たち個人の宇宙の中で、b) 私たちの愛において、c) 私たちの三部分からなる存在において、d) 私たちの霊的な経験の中で、e) 私たちの人の生活の中で首位であるべきです。私たちはあらゆる事を主イエスの御名の中で行なう、すなわち、その霊の中で行動すべきです(III~VII)。

**I. 神の行政における神の意図は、キリストをすべての事において首位とし、キリストをあらゆる事において第一位とすることです:** A. 全世界の情勢は天の神による天の支配の下にあり、神のエコノミーにおける神の意図と符合します。キリストはこのエコノミーの中心です。ダニエル7:9-10 日の老いた方が座しておられた。彼の衣は雪のように白く、彼の頭の毛は純粋な羊毛のようであった。彼の御座は火の炎、その車輪は燃える火であった。一筋の火の流れが彼の御前から現れ、出て来た。千の千の者が彼に対して務めをし、万の万の者が彼の御前に立っていた…。

B. キリストがすべての事において首位であるために、神は一群れの民を必要とします。神が一群れの民を持つことがなければ、キリストは首位とされることができません。

C. 神の天的な支配の下で、神は環境を用いて、キリストを私たちの中心性(第一)と普遍性(すべて)としつつあります。月

**II. 神のエコノミーの中で、キリストは第一位、首位です:**

A. キリストは首位の方であり、彼はあらゆる事において第一位です。

B. キリストは、三一の神格において首位です。第一である御父は御子を高く上げ、第三であるその霊は常に御子に関して証します。ピリピ2:9 神も…彼を高く引き上げ、そして、あらゆる名にまさる名を彼に与えられました。

C. キリストは、神が彼を引き上げることに首位です: エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。1. キリストは第三の天の神の右に引き上げられました。2. 神がキリストを引き上げた時、キリストは万物の上にかしらとして与えられました。火

D. キリストは旧創造においても新創造においても、宇宙においても召会においても、第一位、首位を占めています。コロサイ1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被造物の中で最初に生まれた方です。

18 …御子は、召会であるからだのかしらです。彼は初めであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。

E. キリストが第一であることの意味は、彼がすべてであるということです。キリストは宇宙においても召会においても第一であるので、宇宙においても召会においてもすべてでなければなりません。

**III. キリストは、私たちの個人の宇宙の中で首位であるべきです:** A. 私たちは神に選ばれて、キリストの首位のために神の民となった者として、神の天的な支配の下にあります。

B. この首位の方であるキリストは、私たちの召会生活、家庭生活、日常生活の中で、中心性と普遍性でなければ

ればなりません。

C. 神の天的な支配の下で、すべてが共に働いて私たちの益となります。この事は特に、私たちの個人の宇宙の中で起こる事に当てはまります: 1. 私たちの個人の宇宙は、私たち自身、私たちの家庭、召会を含みます。2. 私たちの個人の宇宙の中で、毎日多くの事が起こりますが、その目的はキリストを首位とするためです。私たちはこの事を認識して、神の天的な支配に服従する必要があります。

D. 私たちはキリストにすべての事で首位となっていたために、進んで調節され、砕かれ、無とされなければなりません。それによって主は、私たちの中で、私たちを通して、私たちの間で道を持ち、彼の有機的なからだを建造することができます。

E. もし私たちがキリストの首位のビジョンを見るなら、私たちの生活と召会生活は徹底的に変えられるでしょう。なぜなら私たちは、キリストがすべての事で第一位でなければならぬことを認識するからです。水

**IV. キリストは、私たちの愛において首位であるべきです:** 啓2:4 しかし、私には、あなたを責めるべき事が一つある。あなたは初めの愛を離れてしまった。

A. 主をすべての事で第一位とすることは、初めの愛をもって主を愛することです。私たちは主に対する初めの愛を維持し、発展させる必要があります。

B. 人が何を愛そうとも、人の心全体、さらには人の全存在は、その人が愛するものの上に置かれ、またそれによって占有され、所有されます。

II テモテ4:8 今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

C. 召会の勝利における栄光の日があるか、召会の衰退の悲しい日々があるかは、私たちがどのような愛を持つかにかかっています。

D. 主に対する私たちの愛は絶対的でなければなりません。私たちは主以上にどのような人も、どのようなものも愛すべきではありません。

E. 私たちが主を愛するのは、主がまず私たちを愛して、彼の愛の要素を私たちの中へと注入し、私たちの内側に愛を生み出し、その愛をもって私たちが彼を愛するようにならなければならないからです。

F. 私たちが主を愛するのは、愛としての神聖な三一の神聖な分与にしたがってです。木

**V. キリストは、私たちの三部分から成る存在において首位であるべきです:** コロサイ1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にもいますキリストであり、栄光の望みです。3:4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。

A. 私たちは天で御座に座しているキリストを礼拝しますが、私たちの霊の中に内住しているキリストを経験し、享受し、彼にあずかっています。私たちはとても主観的な方法で彼と一になっています: 1. 私たちに内住しているキリストは、小さい有限なキリストではなく、すべてを含む、無限に拡張する、首位のキリストです。2. 私たちは、すべてを含む、無限に拡張する、首位のキリストをもって注入され、浸透され、飽和される必要があります。そしてついには、キリストが私たちの経験において、私たちのすべてとなります。

B. キリストは私たちの命であるので、彼が持っているすべて、彼が到達し獲得したすべては、私たちにとって主観的なものになります。キリストは宇宙的には、無限に拡張

張っていますが、私たちの経験においては、私たちの命、私たちの存在です。

**C.** 内容と構成要素は、すべてを含む、無限に拡張するキリストだけであるべきです。

**D.** 私たちは、キリストに私たちの全存在を満たしていただき、また私たちの天然の命のあらゆる面を彼ご自身をもって置き換えていただくべきです。

**VI. キリストは、私たちの霊的な経験の中で首位であるべきです:** **A.** キリストの歴史はクリスチャンの経験であり、キリストの経験はクリスチャンの歴史です: **1.** キリストの歴史は、私たちの経験と霊的な歴史になります。

**2.** キリストとの有機的な結合において、キリストが経過したものは何であれ、私たちの歴史となっています。

**B.** コロサイ人への手紙において、多くの句がキリストに対する私たちの経験を指し示しています。これらの表現は、キリストに対する正しい経験の全体的な絵を私たちに与えます。 **命**

**VII. キリストは、私たちの人の生活の中で首位であるべきです:** **コロサイ3:17-21** **すべての事を主イエスの御名の中で行ない、彼を通して父なる神に感謝をささげなさい。妻たちよ、あなたがたの夫に服従しなさい。それは主にあってふさわしいことです。夫たちよ、あなたがたの妻を愛しなさい。彼女たちにつらくあたってははいけません。子供たちよ、すべての事でああなたがたの両親に従いなさい。このことは、主にあって喜ばれるのです。父たちよ、あなたがたの子供をいらだたせてはいけません。彼らが気落ちしないためです。** **A.** 神は、キリストが人の生活を通して表現されることを願っています。

**B.** 信者の生活は、キリストとの結合の中になければなりません。これが意味するのは、私たちの生活の中で、私たちが彼と一である必要があるということです: **1.** 私たちは主イエスと一である必要があります。それはまさに、彼が御父と一であるようにです。 **2.** 私たちとキリストは今、一つの命と一つの生活を持つべきです。御子の命は私たちの命となり、私たちの生活は御子の生活となります。

**3.** 信者がキリストと結合された生活をするとは、キリストが信者の人の生活の中で表現されるという結果になります。

**C.** 私たちはあらゆる事を主イエスの御名の中で行なうべきです: **1.** 名はそのパーソンを示します。主のパーソンはその霊です。 **2.** 主の御名の中で事を行なうとは、その霊の中で行動することです。これはキリストを生きることであり、私たちの人の生活の中で彼を首位とすることです。 **命**

**Crucial Point(1):** **思いを霊に付けて内側の獣や反キリストを拒絶し、キリストを首位とする**

**OL1:** 全世界の情勢は天の神による天の支配の下にあり、神のエコノミーにおける神の意図と符合します。キリストはこのエコノミーの中心です。

**ダニエル 4:35** 地に住む者はみな無と見なされる。そして、彼は天の軍勢の中でも、地に住む者の間でも、みこころにしたがって行なわれる。彼の手に抵抗して、「あなたは何をしておられるのか?」と言い得る者はない。

**エペソ 1:10** 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。

**OL2:** キリストがすべての事において首位であるために、神は一群れの民を必要とします。神が一群れの民を持つことがなければ、キリストは首位とされることができません。

**OL3:** 神の天的な支配の下で、神は環境を用いて、キリストを私たちの中心性(第一)と普遍性(すべて)としつつあります。

ダニエル書は…キリストが神の選民の環境を通して、彼らの中心性と普遍性となられることを啓示しています。環境としての諸国民を通して、来たるべき日々に神は最終的にキリストをイスラエルの中心性と普遍性とされます。原則は今日私たちについても同じです。ダニエル書に啓示されていないこの現在の奥義の時代に、神は環境を用いてキリストを私たちの中心性と普遍性としつつあります。

私たちは単純ではありません。一方で、私たち、キリストにある信者は神の選ばれた者です。もう一方で、私たちは旧創造の一部分です。…私たちは神の選ばれた民として、キリストが私たちの中へと造り込まれて、私たちの中心性と普遍性となることを必要とします。しかしながら、私たちの中の旧創造は、[ダニエル書 7章にあるように]時には獣であり、ある時にはネブカデネザルや反キリストであって、神の選民を打ち破り、捕らえ、所有し、利用しようとしています。私たちはこのように複雑であるので、私たちもダニエルとなり、エルサレムに向かって窓を開き、キリストが入って来て、私たちの中にある天然的で、旧創造の部分をすべて断ち切り、終わらせてくださるよう祈る必要があります。

私たちは神に選ばれて、キリストを首位とするために神の民となった者として、神の天的な支配の下にあります。これについて、原則は旧約も新約も同じです。神の天的な支配の下で、すべてが共に働いて私たちの益となります。この事は特に、私たちの個人の宇宙の中で起こる事に当てはまります。私たちの宇宙は、私たち自身、私たちの家庭、召会を含みます。私たちの宇宙の中で、毎日多くの事が起こりますが、その目的はキリストを首位とするためです。私たちはこの事を認識して、神の天的な支配に服従する必要があります。…天的な支配の目的は、神の選民を成就して、キリストが首位となり、彼が第一(中心性)とすべて(普遍性)となることです。

**適用: 青年在職・大学院生編**

あなたは自分自身がとても複雑であることを理解してください。あなたの肉の中には神と神のエコノミーである召会生活に反対する獣、召会を破壊するネブカデネザルや反キリストがいます。しかし、霊の中には真のダニエルであるキリストがおられます。また魂の中には思いを肉に付けるか、霊に付けるか、迷っているあなた自身があります。

キリストと召会に反対するあなたの肉から出てきた感覚は、実はあなたではなく、サタン、罪からの感覚です。このことを理解しないと、あなたは複雑さと混乱の中に留まってしまいます。 **ローマ 8:6** **肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。** 思いを肉に付けると、思いの中にサタンの死が注入され、思いは死で満たされます。これは非常に恐ろしいことであり、思いを肉に付けるとあなたは徐々にキリストと召会から引き離されていきます。また、あなたは魂の中に留まる、言い換えると魂の主要な部分である思いを積極的に霊に付けられないでいると、魂の中でさまよい始めます。そして結局、魂の中の思いを肉に付けてしまいます。思いを霊に付け、霊に従って歩む生活は単純で喜びがあり、主に導かれる生活です。

例えばあなたは、「同僚のように頻繁に上司や同僚と夜、飲みに行くつきあいをしないと干されてしまう。祈りの集会や福音に参加している場合じゃない」という強迫観念、心配事が出てきます。これは肉に付けられた思いから来ます。あなたはこれらの強迫観念を主に投げかけ、思い煩わず、単純に主に従ってください。 **1ペテロ 5:7** **あなたがたの心配事をすべて、神に投げてしまいな**

さい。なぜなら、あなたがたに関することを、彼は心にかけ  
てくださるからです。8 慎んで、目を覚ましていなさい。  
あなたがたの敵である悪魔は、ほえたける獅子のように、  
歩き回って、だれかを食い尽くそうと捜し求めています。

祈り:「おお主イエスよ、私の肉の中に住んでいるサタンが  
度々、私を脅迫して『召会生活を送っていると、他人と違  
うので会社で干されてしまう』と語りかけ、私が不信仰にな  
るように誘って来ます。私はサタンの言葉ではなく、神の  
言葉を信じます。悪魔サタンよ、退け! 私は思いを肉に付  
けたことから来る死の感覚を徹底的に排除します。思い  
を霊に付けて単純に主に従うことができるように私の内なる  
人、再生された霊を増強して下さい。キリストを私のビジ  
ネス・ライフにおいて中心性、普遍性とします。アーメン!」

**Crucial Point(2):あなたの個人の宇宙の中で  
キリストを首位とするために、天の支配に服従し、  
キリストを最上の愛で愛する**

**OL1:** 私たちの個人の宇宙の中で、毎日多くの事が起こり  
ますが、その目的はキリストを首位とするためです。私たち  
はこの事を認識して、神の天的な支配に服従する必要があ  
ります。**OL2:** もし私たちがキリストの首位のビジョン  
を見るなら、私たちの生活と召会生活は徹底的に変えら  
れるでしょう。なぜなら私たちは、キリストがすべての事で  
第一位でなければならぬことを認識するからです。

**OL3:** 主をすべての事で第一位とすることは、初めの愛を  
もって主を愛することです。私たちは主に対する初めの愛  
を維持し、発展させる必要があります。私たちが主を愛す  
るのは、主がまず私たちを愛して、彼の愛の要素を私たち  
の中へと注入し、私たちの内側に愛を生み出し、その愛を  
もって私たちが彼を愛するようにしてくださったからです。

神の家の荒廃の原因は何であったでしょうか? 一  
見して、それはイスラエルの子たちが邪悪で、罪深  
かったからであるかのようです。しかしながら、その荒廃  
の内在的な理由は、キリストが神の民によって高く上げ  
られていないことでした。彼らは彼にあらゆる事で、彼  
を首位、第一位としませんでした。実は、彼らがキリスト  
を首位としなかったこと、彼を尊び高く上げることをしな  
かったことが、彼らが罪深く邪悪になった原因でした。  
その原則は、今日、召会生活の中にいる私たちについ  
ても同じです。もし私たちが初めの愛をもってキリストを  
愛さず、あらゆることで彼を第一位とせず、彼が私たち  
の間で首位とならないなら、召会は荒廃するでしょう。  
神の家としての召会の荒廃は常に、キリストに対する経  
験を無視することから生じます。

復興の道は、キリストを高く上げることです。神の民がキ  
リストを高く上げるときはいつでも、回復と復興があります。  
…もしある召会がいくらか冷たく古くなり、復興を願うなら、  
その召会はキリストを首位とし、彼を神の右の手の方として  
承認すべきです。…彼をそのような方として呼び求める者  
はだれでも、回復され復興されます。私たちの個人の生  
活、結婚生活、家庭生活、召会生活において、キリストは  
神の右におられる必要があります。彼が私たちの生活の  
あらゆる面で高く上げられるなら、あらゆる所に復興がある  
でしょう。キリストを高く上げるとは、復興、回復の道です。

私たちは再生された人として、召会の集會に共に来て、  
賛美し、歌い、叫ぶことによってキリストを高く上げる必要  
があります。私たちは黙っているのではなく、私たちの霊  
的な長子の権を活用してキリストを高く上げるべきです。  
私たちは宣言すべきです、「主イエスよ、あなたは神の右  
におられます。あなたは私の個人の生活、結婚生活、家  
族生活、召会生活において首位を持っておられます」。

コロサイ1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被  
造物の中で最初に生まれた方です。16 なぜなら、万物  
は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えない  
ものも、位も、主権も、支配も、権威も、すべて御子の中  
で創造されたからです。万物は彼を通して、彼のために  
創造されたのです。17 また、御子は万物より先に存在し、  
万物は彼にあってまとまっています。18 そして御子は、  
召会であるからだのかしらす。彼は初めであり、死人の中  
から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物  
のうちで第一位となるためです。19 なぜなら、御子の中  
に、全豊満は喜んで住まわれたからです。20 そして、彼  
を通して万物を、すなわち、彼を通して、地にあるもの天  
にあるものご自身に和解させ、彼の十字架の血を通し  
て、平和をつくられたのです。21 かつてあなたがたは神  
から離れていて、悪い行ないのために、あなたがたの思  
いの中で敵であったのですが、22 今や彼は、ご自身の  
肉の体において、死を通して和解させてくださいました。

学校ではトップの校長先生、No.2の教頭先生、No.3  
の学年主任、それからクラス担任がおられます。それ  
ぞれ役割分担があります。しかし神のあなたに対する  
みこころは、あなたがキリストを首位とし、すべてとする  
ことです。校長先生は学校のトップですが、すべてでは  
ありません。校長先生は担当のクラスを持ちません。コ  
ロサイ書の1章の上記の御言葉を読むと、キリストは被  
造物の中で首位であり、復活の中で生み出される新創  
造の中で首位です。またキリストは罪のゆえに神から離  
れていたあなたを神に連れ戻すための贖いを十字架  
上で成就してくださいました。学校生活でキリストを首  
位とすることを学んでください。キリストはあなたにとって  
知恵、理解力、集中力、忍耐力、人間関係、協調性、  
人の良さを称賛する能力、客観性、まとめる力などあ  
なたにとってすべてです。コロサイのこれらの言葉を祈  
り読みし、キリストが万物の内第一位であり、キリス  
トの中に全豊満が住んでいることを知り、経験すること  
ができますように。あなたはキリストを最上の愛で愛する  
ことにより、キリストを首位とすることができます。

祈り:「神のみこころは、キリストが万物において首位と  
なることです。私の個人的な宇宙において、私の学校生  
活、家庭生活においてキリストは首位でなければなりません。  
私が神のみこころの下で学生生活を送って、祝  
福されるために、自分の古い観念や意見を十字架に付  
け、キリストに第一位を与えることができますように。そ  
うすれば私はあらゆる墮落から救われます。アーメン!」

**Crucial Point(3):「まず大きく、次に小さく」の原則に従い、  
まず神の永遠のみこころを知り、  
次にみこころに従った生活をする**

**OL1:** キリストは、私たちの人の生活の中で首位であるべき  
です。コロサイ3:18(妻に対して) 妻たちよ、あなたがたの  
夫に服従しなさい。それは主にあってふさわしいことです。  
19(夫に対して) 夫たちよ、あなたがたの妻を愛しなさい。  
彼女たちにつらくあたってははいけません。  
20(子供に対して) 子供たちよ、すべての事でああなたが  
たの両親に従いなさい。このことは、主にあって喜ばれる  
のです。21(親に対して) 父たちよ、あなたがたの子供を  
いらだたせてはいけません。彼らが気落ちしないためです。  
22(従業員に対して) 奴隷たちよ、すべての事で、肉に  
よるあなたがたの主人に従いなさい。人にへつらう上辺  
だけの仕方ではなく、単一な心で主を畏れつつ従い  
なさい。23 あなたがたが何をやるにしても、人に対して

ではなく、主に対してするように、心から行ないなさい。24 あなたがたは、主から報賞として、嗣業を受けると知っているからです。あなたがたは、主キリストに仕えているのです。25 不義を行なう者は、自分が行なった不義の報いを受けます。それには人の分け隔てはありません。4:1(経営者に対して) 主人たちよ、あなたがたにも、天に主人がおられることを知っているのですから、あなたがたの奴隷に正義と公平を示しなさい。

私たちがキリストとの結合の中で生きるなら、キリストは私たちの人性を通して表現されるでしょう。キリストは御使いの生活の中ではなく、人の生活の中で表現されます。御使いはキリストを表現することはできません。御父は、私たち、彼の選ばれた者が彼の御子の表現であるように定められました。「主イエスよ、私を通してご自身を生かし出してください」が、私たちの祈りであるべきです。

ヒンズー教、仏教、カトリックの人たちの多くは、人の生活について低い評価をします。彼らは結婚や正当な家庭生活を重んじません。彼らは結婚しないであることを好みます。また彼らは御使いのような生活をするを切望します。しかし御使いの生活は、キリストを表現することができません。その反対に、キリストは、夫、妻、親、子供、主人、奴隷である者たちの中で表現される必要があるのです。キリストを表現するために、私たちは正常で正当な人の生活をする必要があります。

私は八人の子供と二十人以上の孫を持つ老人として、主は私たちのためにいかに最上の夫や妻を選ぶべきか、またどんな子供を持つべきかを知っておられると、証しすることができます。彼はまたいかに私たちを砕いて透明にし、私たちがキリストを表現することができるようになるかを知っておられます。私たちは家庭生活を通して、主から多くの尊い学課を学びます。御使いたちは、私たちが家庭生活の中でキリストを生かし出すかどうかを見るために観察していると、私は信じます。

主の回復の中のどの兄弟も姉妹も、修道僧や修道女のような生活をするを切望すべきではありません。正しい時に、兄弟姉妹は結婚し、結婚生活の経験を通して、人の生活の中でキリストを表現することを学ぶべきです。

### 適用: 新人編

新人の皆さんは、「まず大きく、次に小さく」なることを訓練してください。まず大きくとは、あなたが神の永遠のみこころを理解するということです。神の永遠のみこころは、あなたの日常生活における事柄と関係ありません。それは神の定められた御旨、神の意図と関係があります。あなたは神の永遠のみこころを理解するために、自分の状態、状況、失敗、弱さを忘れて、コロサイ書 1 章に啓示されたすべてを含む無限に拡張するキリストに関する神のみこころについての聖書を読み、祈ってください。あなたの心が狭められ、生活の事や将来の事を持ち込んで祈ると、みこころを理解することはできませんので、すべてを忘れ、心を開き霊を活用して祈り、みこころに関する知恵と啓示の霊が与えられますように。

一旦あなたがコロサイ 1:9~3:11 にあるすべてを含み、無限に拡張したキリストに関する神のみこころを理解したなら、3:12~4:6 にあるキリストと結合した日常生活を持つことができます。この時点で、あなたのビジネス・ライフや学校生活はあなたが人間生活の中で具体的にキリストを経験する領域となります。あなたはまず大きくなって神の永遠のみこころを知り、その次に小さくなり、実際的な人間生活の中でキリストを実際に経験します。この「まず大きく、次に小さく」の原則は、あな

たが仕事や勉強をすることでも重要な原則です。新人の皆さんが神のみこころの下で、煩わしさ、労苦、忍耐を伴う人間生活の中で、キリストと結合し、キリストを経験することができますように。そうすれば主は神のみこころのゆえにあなたを大いに祝福することができます。

祈り:「おお主イエスよ、私の状態、状況、弱さ、失敗をすべて忘れます。私に知恵と啓示の霊を与え、神の永遠のみこころを知ることができますように。そして次に煩わしさ、労苦、忍耐を伴う人間生活の中で、すべてを含む、無限に拡張するキリストと結合し、キリストを実際に経験することができますように。神のみこころのゆえに私の生活を祝福してください」。

### 今週のピック: 25 年前に神戸を襲った大震災の経験と神戸に在る召会の復興に関する証し

2020 年 1 月 17 日は阪神淡路大震災から 25 年目でした。震災前、神戸に在る召会の人数は 10 名に達していませんでした。1993 年 4 月から 3 名で集会を始めましたが、集会所が無かったので、月に 2~3 箇所の貸し会議室を使って主日集会をしていました。1995 年 1 月 17 日、震度 7 の大地震が早朝発生し、大きなビルや高速道路が倒壊し、火災も起こり、約 7 千名の尊い命が失われました。

その後、私たちは、(1)自分たちが主によって守られたことに感謝し、(2)震災によって揺さぶられた友人たちの心に福音が届くように努力し、(3)震災直後の 1995 年 2 月から本山駅の近くにあるスタジオを主日の午前中借りて約 2 年半、そこで主日集会を行いました。その後 1998 年秋から約 1 年半、私が購入した本山駅付近のマンションで集会をするようになり、2000 年 4 月に本山集会所が完成しました。震災の悲しい経験により自分の心が激しく揺さぶられ、不信仰が振るい落とされ、より積極的に前進することができました。

その後、2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災及び津波は、阪神淡路大震災の時よりもっと深刻な被害がありました。この時の津波などの映像を見るたびに、私は自ら体験した大震災の光景を思い出しました。主は私の内側を探られ、「阪神淡路大震災の後、あなたは前進したとはいえ、多くの生ぬるさがあったのではないか?」、「福音について、切迫感が足りなかったのではないか?」、「私の環境上の導きを十分理解していなかったのではないか?」という語りかけがありました。私は悔い改めて、自分の罪、欠点、弱さを告白しました。2011 年の東日本大震災以後、召会は福音の面で、特に日本人に対する福音で大きな突破を持つことができました。ハレルヤ、主を賛美します。

ローマ 8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。

コロサイ 1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。

ダニエル 4:34 それらの日が過ぎて、私、ネブカデネザルは目を天に上げると、私の理性が私に戻ったので、私はいと高き方をほめたたえ、永遠に生きている方を賛美し、あがめた。彼の主権は永遠の主権であり、彼の王国は代々に及ぶ。35 地に住む者はみな無と見なされる。そして、彼は天の軍勢の中でも、地に住む者の間でも、みこころにしたがって行なわれる。彼の手に抵抗して、「あなたは何をしておられるのか?」と言い得る者はない。